

コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	450 下水道等維持管理経費	会計	01	一般会計
		款	08	土木費
		項	04	都市計画費
		目	03	下水道整備費
基本 施策	22 全市的に生活排水処理施設を整備する	細目	376	下水道等維持管理経費
		細々目	01	下水道等維持管理経費
行革大綱の重点事項番号				
担当部署	コード	190200		担当者
	名称	産業建設部下水道課		氏名
			深尾 竜也	連絡先
			43 -	2319
			(内線)	

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	伊賀市内市街地の住民 ※対象件数	
成果(どうする)	下水道等を適切に管理することにより、大雨による浸水被害が軽減され、また、住居等から排出される生活雑排水を既設排水路等へ放流することによって環境衛生が向上し、安心して快適な暮らしをすることができる。	
根拠法令・要綱等	伊賀市上野下水道管理規則	
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
H21 事業 内容	下水道等の施設維持管理業務(舗装補修・マンホール取替・管渠清掃・下水道台帳の更新等)	
	社会情勢 の変化等	
上野支所管内の市街地では、昭和3年頃に下水道が整備されているが、宅地開発等が進み、大雨時には昭和3年頃に布設された下水道管の口径が小さいことから、道路等が浸水する区域があり、抜本的に解消を図るには公共下水道事業(上野処理区)の事業推進が重要となる。		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	0人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
下排水路清掃業務		日	目標 3	目標 3	3	3
			実績 4	実績 2		
マンホール蓋取替		組	目標 10	目標 10	10	10
			実績 6	実績 14		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
床下浸水		降雨による浸水被害等が少ないほど、市民が安心して快適な暮らしをすることができる。	件	目標 0	目標 0	0	0
				実績 17	実績 43		
				目標	目標		

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	12,702	5,311	11,060	11,060				
Aの 財源 内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	0	0	420	420				
一般財源	12,702	5,311	10,640	10,640				
事業投入人件費(B)	0.5人	3,600	0.5人	3,600	0.1人	720	720	
フルコスト(A)+(B)	16,302	8,911	11,780	11,780				

事務事業の評価 (Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
効果性	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	○
大雨による浸水被害が軽減されると共に、地域の公衆衛生が向上する。		
財政状況を考慮し、事業を休止した場合は、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
達成度	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高いサービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
達成度	予算の繰越の有無 無	
達成度	予算の繰越がある場合、繰越の種別	
効果性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
効果性	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
効果性	【事業名】	
効果性	受益者負担を求めることができる事業である。	
効果性	全体コストにおける負担構成は適正である。	
効果性	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	大雨による浸水被害を軽減し、安心して快適な暮らしを保持するため適正な維持管理に努める。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 下排水路のつまり・浸水等清掃業務の対象となる案件が少なかった。予算の範囲内で本施設の維持管理に努め、適正かつ効率的に事業を遂行した。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	尾登 誠
【方向性】	現状維持
【理由】	本施設の維持管理により、大雨による浸水被害が軽減され、また、生活雑排水を既設排水路へ放流することによって環境衛生が向上し、市民が安心して快適な暮らしをすることができることから、今後も継続的に下排水路の維持管理は必要である。
現時点における課題、その他	施設の適切な維持管理を継続的に行う必要がある。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	施設の適切な点検・維持管理を励行することにより、修繕費等の軽減を図る。